

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

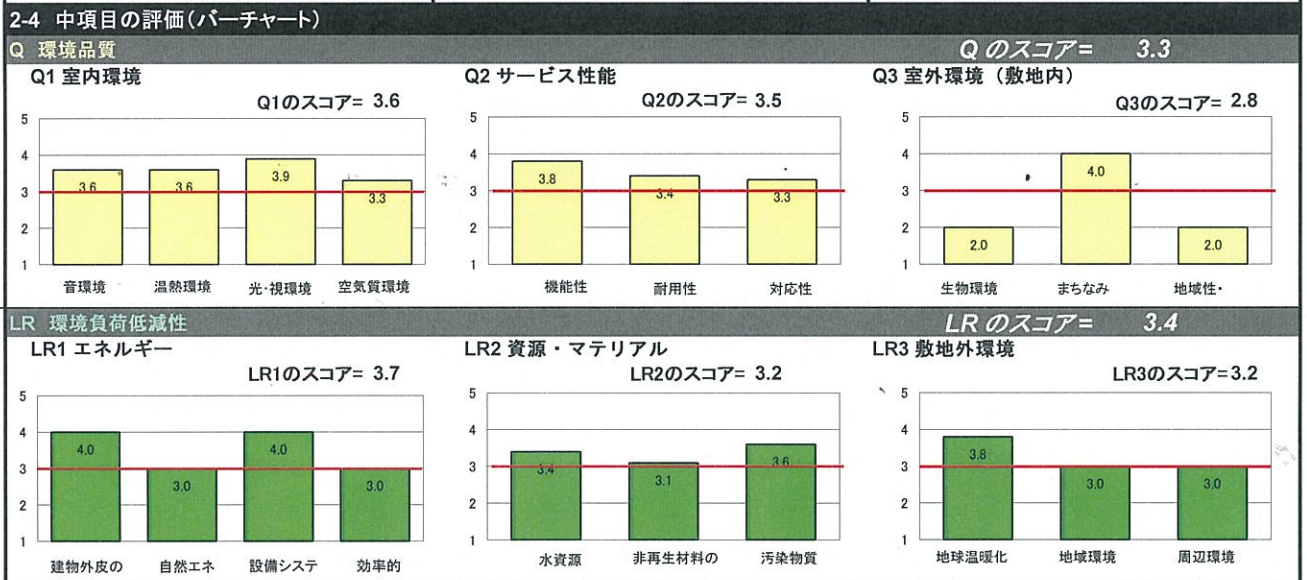
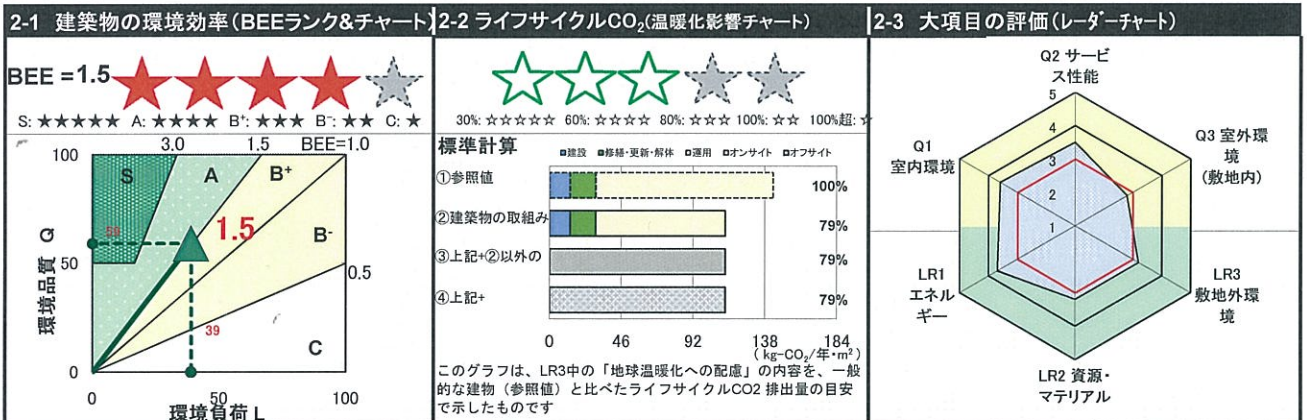
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	米子市水道局庁舎	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市車尾南二丁目123番地	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,100 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年3月1日
敷地面積	33,928 m ²	作成者	亀井 明美
建築面積	1,402 m ²	確認日	2016年3月1日
延床面積	3,311 m ²	確認者	赤井 優

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域の環境に配慮し、地域に根差したサービスを提供する施設づくりを目指した。 環境負荷の低減につとめ、自然エネルギーを活用した省エネ型庁舎。		その他 0
Q1 室内環境 外部騒音の遮断、室温の制御、自然光の導入など、快適な執務空間づくりを目指した。	Q2 サービス性能 機能性を重視し、将来のレイアウト変更に対応できるように、ゆとりある執務空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 景観に調和した建物とし、緑地を確保した。
LR1 エネルギー 全熱交換換気扇を設置し、エネルギー量を削減した。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ、節水型大便器、擬音装置を採用した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される